

留学レポート

私は、この七か月間のカナダ留学が人生で最も学ぶことの多かった時間だと感じました。

まず、目に見える結果として、留学前の TOEIC スコア 740 点だったのに対し、810 点まで向上しました。特に、英語の技能の中で最も成長したと実感しているのは、この留学で改善を期待していたスピーキングです。様々な人種が共存するカナダで、たくさんの人々と英語でコミュニケーションをすることができました。この経験は日本では得られないものであり、海外経験が多様性への理解を深めることの重要性を改めて確信しました。

また、初めて長期間に渡って地元を離れたことで、富山県の魅力の再発見にも繋がりました。富山県は世界でも類い稀な自然美と地元産食材の豊富さ・品質の高さを誇ります。これまで、富山の人々はシャイだから、県の魅力をアピールするのが苦手だと考えていましたが、その魅力に私たち自身が気付いていなかったのだと分かりました。富山県に帰ってきてからはおいしい食事ときれいな空気が贅沢に感じられ、富山県に住むことの幸福を強く感じています。

日本とは全く異なる文化的背景を持つ人々との生活で、お互いの文化の共有をすることが多くありました。その中で、私が将来に海外で発展させたいと思っている富山の伝統工芸品に興味をもってもらうことができました。自然を愛し、日本の歴史や文化を好きだと言ってくれた人々とは、話が深く進んでいき、日本についてのたくさんの知識を要しました。例えば、富山県の名前の由来から、伝統工芸品の長い歴史までも熱心に耳を傾けてくれました。その結果、実際にカナダの方4名に漆器の商品を購入までしてもらうことができました。私は富山県のことをあまり深くまで知らなかったことを後悔したため、これからは海外にばかり目を向けるのではなく、自分の地元を理解したいなと思いました。

キャリアに英語を使っていくためにはまだまだ学ぶことがたくさんあると感じます。残りの大学生活では、ゼミで日本酒を自分たちで一から造り、英語で実際に商品の販売をするプロジェクトがあります。この活動をはじめ、机に向かって勉強するだけでなく、実践的な経験を積みながら、将来のためにビジネス英語とマーケティングの両方を学んでいきたいです。

私は、海外留学に行く前の私のように富山県に住んでいることを誇りに思っていない人々に、どれほど恵まれた環境なのかを発信していきたいと思います。これからはさらに海外旅行者が日本に来る機会が増えると予想するので、他の県に負けないような魅力を伝えられたらいいなと思います。この海外留学の貴重な経験を誇りに思い、周りの環境に感謝し、これからの人生と富山県への貢献に活かしていきたいです。